



第二中学校だより

R7 ミッション 「Two-Way コミュニケーションによる教育活動」

令和7年5月号

↓二中ホームページ↓



3日、3週、3か月

校長 小関 直

新しい年度が始まり、生徒たちは希望とともに新しいクラスや環境に慣れようと日々努力しています。大半の生徒は、楽しげに学校生活を送っているように見えます。しかしながら、特にクラス替え直後は不安や緊張感が高まり、学校生活への適応に困難を感じる生徒もいるものです。昨年度の学校の調査では、全校生徒の約15%は登校に関して何かしらの不安を抱えていることが明らかになっています。コロナ禍を経て、社会全体が大きな変化を遂げた中、不安感情の強い子どもたちが増加している現状が見受けられます。

新しい環境にチャレンジする3日間

私はこれまで、不安を抱える子ども一人ひとりに、次のように小さな目標を設けて声を掛けてきました。「まず、最初の3日間を頑張ってみよう。その期間を過ぎれば、少しずつ周りに慣れていけると思うよ。」という短期的な目標の設定は、不安感情を少しでも和らげる手助けになります。目の前の課題に集中することで、「まずは少しでも頑張ればいいんだ」と思える心の余裕が生まれます。教員の世界では、ほぼ全員の子どもの前向きに生活しようとするこの期間を「黄金の3日間」と呼び、昔から大切にしてきました。

新しい環境に慣れる3週間

次の目標は「3週間」です。3日間を乗り越えた生徒たちは、少しずつ友達やクラスの雰囲気慣れ始めます。友人関係の構築は、子どもたちの学校生活を充実させる重要な鍵です。社会浸透理論等の心理学の観点からも、新しい環境で関係性を築くためにはある程度の時間が必要であり、中学生にとってその時間が3週間というのは妥当な目安だと思われます。大切なのは、無理をせず自分のペースで進むことを生徒たちに伝えることです。その目安の3週間目が先週過ぎました。お子さんのコンディションはいかがでしょうか。ゴールデンウィークに入り、少し余裕が出てきた生徒がいる一方、新しい環境から少し離れたことで気分がリセットされ、再び不安に苛まれている生徒もいます。いわゆる「5月病」と呼ばれるものです。ネガティブな印象のある言葉ですが、言い換えれば、新しい環境という「異常な中」で頑張った結果、疲れが出たことは「正常な反応」であるともいえます。けしてネガティブに捉える必要はなく、むしろ当たり前のことと捉えたほうが良いと思います。大切なことは、いち早く「異常」を「日常」に変換させ、慣れさせていく必要があるということです。

新しい環境を日常にする3か月間

その日常化が、次の「3か月」ということになります。日常化を目指していく過程では、いつの間にか学校生活が楽しいと感じられるようにしていくことが大切です。学校では、いつもの空間で、いつものクラスメートと、いつものルールで生活することで環境を共有することが大切です。家庭においては、早寝早起き朝ごはんといった日常の生活リズムを堅持していただくことがベースとなります。ゴールデンウィーク以降2か月半、7月21日まで祝日はありません。こうした何気ない日常が続くことで不安や緊張感が薄れ、自然と笑顔が増える時期が訪れます。次の3か月で、生徒たちは新しい環境における自己の居場所や役割を見つけてことができるようになります。また、これは保護者の方々にとってもお子さんの成長を見守る貴重な期間と言えると思います。

不安感情に向き合う

一方で、不安感情を抱える生徒たちの中には、同調圧力に苦しみ、自分自身をうまく表現できない場合もあります。そのような場合には、家庭での安心感やリラックスできる時間を確保することが大切です。「ここではありのままの自分でいいんだ」と思える環境が、お子さんの自己肯定感を高める鍵となります。また、お子さんと日々の会話を重ねる中で、感じている不安や悩みに耳を傾けていただくことも重要です。

保護者の皆さまへお願いしたいのは、生徒たちにとって家庭が最も安心できる場であることを忘れないでいただきたいということです。そして、節目ごとに小さな成長を喜び、不安を乗り越えるための手助けをしていただければと思います。

そして、お子さんのことで気になることがあれば、チームUp 担任にご相談ください。今年度は、5月の教育相談週間で担当となった教員が、年間を通して相談の窓口となります。その後、相談内容に応じて事案ごとに担当者を決めて対応することになっています。教員によって得意分野が異なりますので、より適切な相談になるものと考えています。

「3日、3週、3か月」という小さな目標を重ねることで、子どもたちの成長を応援し、新しい環境に安心して溶け込めるよう、学校と家庭が一体となって支えていければと思います。繰り返します。行事やイベントも大切ですが、日常が何よりも重要です。

教員の勤務実態について

3月の超過勤務:45時間以上19名、80時間(過労死ライン)以上2名、100時間(〃〃)以上1名 計22名
令和6年度1年間の平均超過勤務時間:425時間27分

「公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン」(文部科学省、平成31年1月制定)では、①1か月の超過勤務45時間以内②1年間の超過勤務360時間以内と定められています。そうした中、教職員は、教育的価値の実現と働き方の適正化の両立が求められています。最近では、教員の勤務実態が明らかになるにつれ、教員不足も深刻化しています。そこで、本校の実態を率直にお知らせすることで、ダブルバインドの解消に向けた取組の一助としてまいりたいと考えています。まずは、本校の実態が明確な法令違反となっていることを認識する必要があると考えます。

新座二中キャッチフレーズ
 明るいあいさつ 光る汗 きれいな学校 きれいな心

新座二中 4月の様子

4/8(火) 始業式、第55回入学式

校庭でのクラス発表



新入生は元気よく返事をし、立派な態度でした。



4/11(金) 新入生歓迎会

新入生に向けて、生徒会を中心に
 中学校の生活や委員会、部活動を紹介しました！



4/11(金) 18(金) 25(金) おはなしの雫



教育相談週間

5/7(水)8(木)9(金)12(月)13(火)15(木)16(金)

教育相談週間として7日間、二者面談(希望される方は三者面談)を行います。生徒の生活の様子や目標、悩みや不安を把握して生徒理解を深めるとともに、生徒への適切な支援を行うものです。ご理解とご協力をお願いします。

交通ルール・マナーを守ろう！

登下校時など、一度に多くの人数が道を通って歩道をふさぐ等、周りの方に迷惑となってしまうことがあります。1年生の本部入部も始まり、校外への移動も出てきます。交通ルールやマナーを守り、「さすが二中生！」と言われる行動をしましょう。校外や休日の過ごし方については、ご家庭でもご指導ください。

5/1より通級指導教室の担当教諭が着任しました。よろしくお願いいたします。

5月の学校行事〔完全下校 18:00〕

1	木	ふれあい協議会あいさつ運動、5時間授業(木 12563)
2	金	授業公開日、部活動一斉保護者会、3年修学旅行説明会、5時間授業(火 12564)、3年 13:30 下校
3	土	憲法記念日
4	日	みどりの日
5	月	こどもの日
6	火	振替休日
7	水	教育相談週間①、5時間授業(金 12564)
8	木	教育相談週間②、5時間授業(火 12346) 1年埼玉県学力・学習状況調査
9	金	教育相談週間③、5時間授業(金 12345) 2年埼玉県学力・学習状況調査
10	土	
11	日	
12	月	教育相談週間④、眼科検診
13	火	教育相談週間⑤、5時間授業(火 12356)、 3年埼玉県学力・学習状況調査
14	水	6時間授業(水 124 学年内水 56)、 耳鼻科検診、学力調査候補日①
15	木	教育相談週間⑥、5時間授業(木 12346)、 尿検査1次①、歯科検診
16	金	教育相談週間⑦、5時間授業(金 65341)、 尿検査1次②
17	土	
18	日	
19	月	前期教育実習開始
20	火	5時間授業(火 12345)
21	水	5時間授業(水 12346)、第2回専門委員会
22	木	通信陸上競技大会朝霞地区大会
23	金	おはなしの雫(3年)、 通信陸上競技大会朝霞地区大会予備日
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	6時間授業(火 13456+学年内) 学力調査候補日②、ふれあいデー※部活動なし
28	水	6時間授業(生徒総会+水 5341+避難訓練)、 PTA 集金日、PTA 合同委員会
29	木	内科検診(2年)、メンタータイム
30	金	おはなしの雫(2年・若葉)、6時間授業 (12346+学年内)、学力調査候補日③
31	土	

6月の主な学校行事

3(火)尿検査2次①、学力調査候補日④	4(水)尿検査2次②
5(木)3年内科検診、学力調査候補日⑤	
6(金)おはなしの雫(1年)、県通信陸上①、前期教育実習終了	
9(月)~11(火)3年修学旅行(大阪・京都)	
12(木)学力調査候補日⑥	
13(金)おはなしの雫(3年)	
19(木)~22(土)24(火)学校総合体育大会朝霞地区大会	
26(木)3年進路保護者説明会	27(金)第3回専門委員会
28(土)29(日)学校総合体育大会朝霞地区大会(水泳)	



※予定は変更となる場合もあります。予めご了承ください。